

雪灯ろうづくり

雪さえあれば、いつでもどこでも簡単につくれます。グループでたくさん作ったら、ファンタジーの世界が広がります！工夫して、自分たちだけの灯ろうをつくってみましょう。完成して、火を灯すときのワクワク感は最高です。三瓶の静まり返った夜に火が灯された風景はとってもロマンチックですよ☆
今年は、幻想的な三瓶の夜を過ごしてみませんか？



※入所後の打合せは行いませんが、確認表の事前提出をお願いします。

活動のねらい

- ・創作をする中で、グループ間のコミュニケーションが生まれます。
- ・年齢、性別関係なく、誰もが楽しく作成できるプログラムです。
- ・自分で工夫してつくることで創造力を養います。

一斉実施可能人数	50名程度	活動季節・条件	積雪期
所要時間	1つ作成に10分程度	実施場所	交流の家敷地内(つどいの広場を除く)
主な対象	幼児～		
指導について	職員による事前指導はありませんので、団体による自主運営で実施してください。		

活動の概略

- ①準備物等を確認します。
- ②バケツに雪をスコップで入れます。
- ③すこし固めて、ひっくり返します。
- ④ろうそくを立てる場所をスコップで掘れば雪灯ろうの完成です。
- ⑤周辺に落ちている木の葉などを飾り付けてもいいです。
- ⑥あとは、小燭台にろうそくを立て、暗くなったらろうそくに火をつけましょう。

応用として、雪玉製造機で作った雪玉を三角形になるように上に重ねていき、底の空いたスペースにろうそくを灯しても美しいですよ。自分たちで工夫して考えながら世界に一つだけの雪灯ろうをつくってみてください。

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

バケツ、スコップ、ミニショベル、ライター、小燭台(ろうそくを立てるもの)、雪玉製造機、スパッツ、歩くスキー用靴、スノーシュー、和かんじき、救急バック、無線機

利用者または団体に準備する用具・材料

防寒着、靴(ゴム長靴など水が浸透しにくいもの)、防寒帽子、水筒
防寒手袋(軍手等綿製品は不可、厚手の毛糸が好ましく、無いときは薄手のものを二つ重ねて着用しても可)
ろうそく(持ち込まれた場合は、お持ち帰りください)、ライター

事務室または食堂で購入する物

ろうそく10本セット(小)

※購入物品の金額については、利用申込書一式(プログラム教材・指導員申込書)をご確認ください。

当日の動き

- ①用具の準備 交流の家職員と一緒に用具の保管場所の確認をします。
- ②事前指導 団体の指導者が、明るいうちに雪灯ろうの基本的なつくり方を説明します。
- ③活動 活動は自主活動です。火の後始末をしっかりとお願いします。
- ④ふりかえり 完成した雪灯ろうを眺めながら、活動をふりかえりましょう
- ⑤用具の片づけ 用具を整理し、所定の場所に返します。返却後、事務室まで報告をお願いします。

安全対策・環境への留意点

- 火を使いますので、火がすべて消えたことを確認してから事務室まで連絡をお願いいたします。
- 使い終わったろうそくは、お持ち帰りください。
- 外での活動になります。防寒対策はしっかりしてきてください。